

紀 伊 民 報



久保田信京大助教授（右から3人目）の話を聞きながら波打ち際の生物を観察する京大1回生—田辺湾島で

白浜の魅力に触れる

京大新入生が実地授業

京都大学フィールド科学教育研究センターは、このほど、新入学生に白浜町の魅力ある多彩な自然を知ってもらうため、同町臨海の京大白浜水族館

やその周辺で、実地授業「ポケセミ」を行った。理学部や農学部、工学部の10人が参加。久保田信助教授が講師を務め、プランクトン採集や漂着物調査、磯観察などをした。

同センターの瀬戸臨海実験所管理の島島では、微小生物から肉眼で見つけられる大型生物まで

を採集して観察、写生した。クラゲの生活史研究の副産物として発見されたベニクラゲの若返り現象も実物を見ながら学んだ。

参加学生は「今回の実習で海への興味が深まり、ぜひ、海洋関係の研究職に付きたい」「普段何げなく歩いている浜辺に、いかに多様な生物が暮らしているのか分かった」「ベニクラゲを使った若返り薬の開発に興味が出てきた」など感想を述べた。